

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2015年4月～2016年3月

1. 学校概要

学校名 一宮市立西成小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒491-0005
愛知県一宮市西大海道字障子目 30 番地
E-mail : nisina-e@city.ichinomiya.aichi.jp
Website : http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~nisina-e/
児童生徒数：男子 162 名 女子 177 名 合計 339 名
児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動

本校では、ESDを「人・自然・社会との関わりやつながりを尊重できる個人を育む教育」という視点でとらえ、環境・人権・国際理解・伝統文化の領域での学習を深め、総合的な人間力を育むことをねらいとしている。書籍や映像による知識や理解にとどまらず、体験を通して学ぶことをめざし、自律心、思考力、判断力、実践力の育成を図ると共に、人・自然・社会とのつながりを尊重できる児童の育成を目標としている。

次のように、本年度は実践してきた。

(ア) 環境教育に関する活動…環境に対する責任と役割を理解し、環境問題に主体的に取り組む態度を育てる。

① 社会見学（４年生、６月）

市の環境センターと佐千原浄水場を見学し、ごみや水の処理について学び、自分たちが環境保護のためにできることを考えることができた。

② 資源回収（４年生、６・１０・３月）

地域の資源回収に参加し、分別や運搬作業を手伝うことで、資源の大切さと奉仕活動の尊さを知ることができた。

③ ヤゴ救出作戦（２年生、６月）

プール清掃の際に２年生がプールに生息するヤゴを捕り、とんぼに羽化するまで世話したり、観察したりした。身近な水辺環境とそこに住む水生生物の生態について学ぶことができた。

④ 栽培活動

・ 米作り（５年生、６～１１月）

ＪＡの営農指導課の方を招き、田起こしや田植えの指導のもと、校地内の田で稲を育てた。稲刈り、収穫、精米、そしてお米の調理まで行い、学習した米作りについてまとめることができた。

・ 一人一鉢運動（全学年、１２月～３月）

パンジーの苗を一人ずつ鉢に植え、自らの手で育て、花が咲くまでの苦労を体験することができた。卒業式には、その鉢を式場全体に並べ、卒業式の会場を華やかに飾る予定である。

(イ) 人権教育に関する活動

偏見や差別を許さず、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を築くことができる態度を育てる目標で取り組んでいる。

① 一宮東特別支援学校との交流（全学年、６・１０月）

６月と１０月に、一宮東特別支援学校の児童と交流活動を行った。互いに学校を訪問し合い、自分たちで企画したゲームや歌、スポーツなどを一緒に行った。１年時から同じペアで活動することで６年間の積み上げができ、相互理解を深めることに役立っている。

② 福祉実践教室（４年生）

障害のある方を講師として招き、手話・車いす・点字・ブラインドウォークを体験することができた。

③ いじめ防止活動（児童会、１２月）

人権週間における全校集会で、児童会役員が、いじめ防止啓発劇や意見発表を行なった。児童会役員が企画することで、児童の目線に合った啓発活動をすることができた。

(ウ) 国際理解教育

異文化を理解・尊重し、国際協力に貢献できる態度を育てるという目標で取り組んでいる。

① エコキャップ運動、アフリカへ毛布を送る運動（児童会）

児童会が全校に呼びかけてエコキャップや毛布を集め、発展途上国の恵まれない子どもたちにワクチンや毛布を送った。こうした活動により、発展途上国の実態について知り、小さな力を集めて、国際貢献することができた。

② 国際交流（全学年、７・９月）

